

【韓国】

9-10月の市場動向トピックス

- 2019年9月の訪日韓国人数は、前年同月比58.1%減の201,200人であった。
- 2019年10月の訪日韓国人数は、前年同月比65.5%減の197,300人であった。
- 最近の日韓情勢の影響を受け、訪日旅行を控える動きが発生していることに加え、中国やベトナムなど海外渡航先が多様化していること、韓国経済が低迷していることなどから、訪日者数は9月、10月ともに前年同月を大幅に下回った。

9-10月の主なプロモーション活動

- 日韓交流おまつり、釜山国際観光博(BITF)にて、VJブースを出展し、日本各地の観光情報を発信した。日韓情勢が低迷する中でも、多くの人々がブースを訪れ、訪日旅行への変わらぬニーズを確認できた。
また、JNTO ソウル事務所の公式 SNS では、日韓交流イベントの様子や交流団体の訪日歓迎コメントなど、「日本にある韓国愛」を発信し、日韓交流の気運醸成に努めている。



(日韓交流おまつり VJ ブース) (釜山国際観光展 VJ ブース) (日本にある韓国愛 SNS 投稿)

- 韓国現地の旅行会社を対象とした、東北観光セミナー(全6回予定)を開催し、東北旅行を「列車」「スノー」「アート」など様々な切り口で解説、これら東北観光コンテンツを知り尽くしたスペシャリストを、韓国の旅行業界に育成することで、訪日旅行商品造成の更なる活発化を目指している。



(東北旅行スペシャリスト育成セミナーの様子)